



協力して創り上げる喜びを味わった学習発表会

10月20日(日)、「みんなが主役 練習の成果を發揮し 最高の笑顔で思い出に残そう」のローガンのもと、学習発表会を行いました。日常の学習を総合的に発表することにより表現の能力を高めること、協力して一つのを創り上げる喜びを味わうこと、鑑賞の力を養うことを大きな目当てとしています。また、自主的な活動を通して、子供たちの創造性や計画性を伸ばしていきたいと考えます。

10月に入り、休み時間に校内を回ると、あちこちの教室で音楽が流れ、子供たちが集まって楽しそうにダンスをしていました。「もう少しでできる!」とフラフープや縄跳びの技、特別楽器を練習する子、劇で使う小道具を作っている子もいます。獅子舞クラブの自主練習が始まると、下学年の子が楽しそうに見ていて、クラブ員ではなくても笛をもって参加している子もいます。四つの学年が共に学ぶ山びこ学級では、お互いのダンスや歌を教え合い、楽しそうに踊ったり歌ったりしています。予行の後には「私たちの発表、どうでしたか?」と聞きに来てくれる子供もいました。「みんなと活動するって楽しいな。できることを増やせてうれしいな」と、協力して創り上げる喜びを味わった学習発表会だったと思います。

子供たちを励ますとともに、衣装の準備等、ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございます。また、PTA 役員の方々、おやじの会の皆様のお力添えにより、バザーや催しも大盛況でした。何度も集まっていたいただき、準備・運営にご尽力いただきましたことに重ねてお礼申し上げます。



1年 とりのおうさまコンテスト
小さな体から大きな声を出し、セリフや歌、踊りをがんばりました。



2年 レッツ!トライ!まめにんじゃ!
たくさんの種目に挑戦。休み時間にも自主的に練習しました。



3年 Let's Enjoy ABC!
3年生から習うようになった英語。楽しく学んでいることが伝わってきました。



4年 めざせ未来のオリンピック!
練習しているうちにできる技がどんどん増えました。道具の出し入れもがんばりました。



5年 One for all All for one
1学期から計画を立てて取り組んだ音楽発表。美しい歌声、格調高い演奏が心に残りました。



6年 魔法をすてたマジョリン
演技力、迫力満点!舞台装置、小道具等、自分たちが創り上げた劇。きっと一生の思い出となりますね。

収穫の秋・稲刈り体験 & 味覚の秋・かに給食



5月に5年生が田植え体験をさせていただいた田に、黄金色の稲穂がたわわに実りました。9月19日（木）には、田植えの時と同様に橋下条長寿会の皆様のご協力のもと、稲刈りをしました。

稲の握り方を教えていただき、鎌を使って稲を刈り取りました。恐る恐るやっていたのが慣れてきた頃に大型コンバインの登場です。すべてを手作業でやっていたころの苦労や機械化のすごさを学ぶことができました。また、長寿会の方とともに落ち穂を集めながら、昔から一粒の米も無駄にせず大事にしてきたことを実感できました。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

10月9日（水）には、かに給食が行われました。ふるさとの味を知ってほしいという新湊漁業協同組合のご厚意のもと、射水市内の小学校6年生を対象に一人一杯、ベニズワイガニを振舞っていただいています。子供たちは大きなカニを前に満面の笑み！ふるさとの味を堪能しました。

子供たちの安全を守るために

10月7日（月）に第3回避難訓練を行いました。今回は不審者侵入を想定した訓練です。不審者が侵入したことに気付いた教員が教室のインターホンを使って全校に知らせます。子供たちは教師の指示のもとに学年ごとに一つの場所へ移動し、教師が安全を確保します。

当日は、射水警察署、射水市生活安全課から多数の方がご来校くださり、ご協力いただきました。そして、教職員の動き、児童の避難の仕方などをご指導いただきました。

次回の避難訓練は、清掃時に地震が起きて津波警報が出た場合を想定して11月に行います。なかよし班の友達と一緒に高台のなかよし公園まで避難します。太閤山小学校は津波浸水区域には入っていませんが、いつどこに誰とも避難を適切に行えるようにと考えて行います。

万が一に備え、自分の身を自分で守ることができる子供を育てていきたいと思えます。



全校で射水警察署の方からお話を伺いました

ある本に福岡県警で少年育成指導官をしておられる安永智美さんの記事がありました。数々の少年の立ち直りを支援したり相談にのったりしておられる方です。その中で、次のように書いておられます。

越えてはならない一線を前に踏みとどまれる子どもの心の中には、「怒られるのが怖いから」という存在ではなく、「この人だけは悲しませたくない」「裏切りたくない」という存在や「自分は愛されている。大切な存在だ」という自尊心や自己肯定感という『お守り』がありました。…

愛情が子供の心の根っこに伝わるように、子供の『お守り（自尊心）』を育むことができるように、家庭、学校、周囲の大人たちが協力していかなければならないと改めて感じました。